

市 政 報 告

令和 4 年 11 月 10 日

第 2 回市議会臨時会

令和 4 年第 2 回市議会臨時会に当たり、市政の主なものについてご報告申し上げます。

はじめに、「職員の新型コロナウイルス感染」について申し上げます。

本年 1 月 12 日から昨日までの間、北海道岩見沢保健所により、本市職員 122 名の感染が確認されました。感染した職員につきましては、業務において市民との接触がないことを確認し、その後、自宅療養等を経て、職場復帰しております。

次に、「公共施設における新型コロナウイルスの集団感染」について申し上げます。

美唄市養護老人ホーム恵風園においては、10 月 7 日から 10 月 28 日までの間に、入居者 30 名及び職員 10 名が感染し、北海道岩見沢保健所の指示により、感染対策を行っていましたが、今後、感染者が発生しない場合には、感染者の健康観察が 11 月 7 日で終了し、11 月 12 日をもって集団感染が収束となるところであります。

次に、「新型コロナウイルス感染症に対する本市の対応」について申し上げます。

北海道では、人口 10 万人当たりの新規感染者数が全国最多となるなど、感染状況が再拡大の局面に入ったことから、11 月 2 日の対策本部会議において、保健医療提供体制の再確認や基本的な感染防止対策の再点検を進めることとしております。

市としましては、このような道の動向を踏まえ、引き続き、高い警戒感をもって基本的な感染防止対策の徹底など、必要な対策を図っていくこととしております。

また、本臨時会におきましては、これまでの対策に加え、厳しさが増す経済環境の中で「物価高騰から市民生活と事業活動をしっかりと守り抜く」ため、低所得世帯への支援として、国の「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業」や市の「住民税均等割のみ課税世帯へのくらし応援金支給事業」をはじめ、生活者及び事業者への支援として、水道基本料金の免除をさらに 2 か月間延長する「水道会計支出金」、さらには、農業分野における物価高騰対策支援として、「農業経営緊急支援事業」に係る補正予算を新たに提案するものであります。

今後とも、10 月 28 日に閣議決定された「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」に適時適切に対応するなど、市民の皆様が一日でも早く通常の生活や事業活動を取り戻すことができるよう、職員と一丸となって「市民の命と暮らしを守る」対策を切れ目なくしっかりと講じてまいります。

次に、「新型コロナウイルスワクチンの接種」について申し上げます。

「従来型ワクチン」による４回目接種につきましては、１０月１５日をもって終了し、９,０３９名の方が接種を受け、接種率は４５.２パーセントとなっております。

また、１０月２４日から開始した「オミクロン株対応２価ワクチン」の接種につきましては、これまでに接種対象者約１８,０００名のうち、接種時期が到来した約１０,０００名に接種券を発送し、順次接種を進めているところであります。

なお、５歳から１１歳までを対象とした「小児用ワクチン」の接種につきましては、接種希望があった２９２名のうち２５３名の初回接種を終えているほか、生後６か月から４歳までを対象とした「乳幼児用ワクチン」の接種につきましては、１１月１９日から接種を開始する予定であります。

今後とも、接種を希望する全ての市民の皆様が速やかに接種を受けられるよう、美唄市医師会や市内医療機関の皆様のご協力のもと全力で取り組んでまいります。

次に、「美唄市合同墓の供用開始」について申し上げます。

少子高齢化や核家族化等に伴うお墓の課題に対応するため、美唄市光珠内町３区の火葬場「美唄斎苑」の隣接地に「美唄市合同墓」を新設し、１０月１７日から焼骨の収蔵を開始しました。受付を開始して以来、これまで市民の皆様から１５５件のご相談を受けているところであります。

次に、「美唄市地域包括ケア講演会」について申し上げます。

「美唄市地域包括ケア推進条例」制定後の取組を着実に進めていくため、「美唄市地域包括ケア講演会」を１１月５日、市民会館大ホールにおいて約１６０名の参加のもとで開催しました。「美唄で健康に長生きし、安心して最期を迎えるために」をテーマとし、砂川市立病院副院長 木村眞司 先生をお迎えしての基調講演とともに、地元関係者によるシンポジウムを行いました。

今後とも、全市民が力を合わせて超高齢社会を支えていくために必要な取組として、市民の皆様が住み慣れた美唄で安心して生活できる地域包括ケアシステムをしっかりと推進してまいります。

次に、「本市の平和施策の推進」について申し上げます。

１０月１３日、長崎市で開催された「全国都市問題会議」に参加し、田上長崎市長と面談の後、原爆資料館を視察したほか、翌日は広島市の平和記念資料館及び原爆ドームを視察した後、松井広島市長と今後の平和施策の推進に向けた自治体間の連携について協議を行いました。今後とも平和施策の推進に取り組んでまいります。

以上、申し上げまして報告を終わります。